



法中校長室通信

みちくさ

R7

回覧

文責：船越 路央

School trip!!

京都・大阪方面への修学旅行は、いろいろなご縁と奇跡に助けられつつ、大成功の3日間でした。例えば・・・気候。予想よりも風があり爽やかで歩きやすかったです。それから森貴主(もりかんす)さん。超激務の折、私たちのために時間を割き、一人一人に向けた言葉を「直筆」でくださいました。(感謝申し上げます) 両手にいっぱいのお土産は勿論のこと、心の中の「思い出」というお土産も、きっと家族に渡されたことでしょう。本当によき仲間との最高の旅行でしたね!!

バス運転手 バスガイド
添乗員 貴主 呉服店経営者
鉄道職員 ホテルマン
レストラン副料理長
観光ガイド 漫才師 嘶家
イベントガイド USJ クルー
ホールスタッフ
タクシードライバー 他



一流の選手から学ぶ ～あの〇〇がなければ・・・?～



昔の相撲の話です。昭和55年の秋場所。先代貴ノ花と高見山の一戦は、互いが得意の技の応酬でしたが、最後に貴ノ花は高見山の200キロの巨体を投げたように見え軍配は貴ノ花に上がります。しかし、物言いがつき「貴ノ花のマゲが先に土に付いた」ことで行司差し違えて高見山の勝ちとなりました。インタビューで「あのマゲがなければ勝てましたね・・・」と質問するアナウンサーに対して、貴乃花は静かに語りました。

「マゲがなければ関取ではありません・・・」

先月、9日間の日程で開催された世界陸上でも、そのシーンを彷彿とさせる場面がありました。男子3000m障害でメダルを期待された三浦龍司選手は、最後のハードル付近で他のランナーと接触してしまい、メダルを逃しましたが、ある番組の中で「あの接触がなかったら・・・」と尋ねる質問者に対して次のように答えています。

「長距離種目はオープンレーンというか、レーンは決められていないので、接触のリスクはどうしても付いてくる。これがレースの醍醐味というか、魅力の一つでもあるのかなと僕は思います。」

とかく「〇〇がなければよかったのに・・・」と、責任を他者に向けがちですが、彼は自分の置かれている立場を理解し自分にも相手にもリスペクトできる方なのでしょう。すごくカッコよく、印象に残る場面でした。

最近の朝活

最近、早朝5時台から始まるEテレの世界史探究にハマっている。授業形式で3人の学生が疑問を持ったことを素直に語っていく。議論が煮詰まってくると大学教授が登場し、解釈や詳細な説明を行う。という構成なのだが、とにかく知的好奇心がぐいぐいと湧き上がる。中でも、「中国史の清の時代になぜ人口が増えたのか」という回は楽しかった。時間もゆとりとコンパクトであり、いっしょに授業を受けている気持ちになるところも魅力! よろしければ一度ご覧になってください。

生徒の名言

- ★修学旅行の準備しとる今が一番楽しいへん?(3年女子)
- ★嗚呼、帰りにたくないなあ・・・現実に遭いたくないなあ・・・(3年男子)
- ★バイキングも美味しかったけど・・・やっぱり、家族が作ったごはんが食べたい!!(3年男子)



2025 法中修学旅行を短歌でふりかへり

作
フナコ氏

ケータイのYahoo!の検索履歴には
京都の天気が何十回も

縁

「全力で楽しめ悔いがないように…」
委員の言葉に気合が入る

感

カラオケは一人で歌うと思いきや
アンジェリアアキを全員合唱

歌

貫主さん自信を持って大宣言
「米」だと予想今年の漢字

愉

四条から歩いて錦市場まで
韓国アメリカ独語が飛び交う

瑳

すっちーのドリル突っ込み皆無でも
爆笑快笑立場を忘れて

賛

二日目の十九階の夕食は
夜景に歓声おまけに花火

想

スノーピー柄のポシエット店員に
勧められたり校長の秋